

	<h2>「第42回障害者福祉大会 ・2018障害者フェスティバル」を開催</h2> <p>～障害者週間（12月3日から9日）の啓発事業～</p>
<p>と き</p>	<p>12月1日（土）① 障害者福祉大会 : 午前10時～10時50分 ② 障害者フェスティバル : 午前10時～午後3時</p>
<p>と ころ</p>	<p>光が丘区民センター（光が丘2-9-6）、光が丘公園ふれあいの径</p>
<p>1日、区は、光が丘区民センターで「第42回障害者福祉大会」を開催した。地域で活躍している障害のある方や障害者福祉の向上に寄与した13名が表彰され、前川耀男練馬区長から、一人ひとりに表彰状が手渡された。今年は、10月に開催されたインドネシア2018アジアパラ競技大会でメダルを獲得した方2名も表彰された。</p> <p>また、同日、光が丘区民センター、都立光が丘公園ふれあいの径では「2018障害者フェスティバル」が開催され、合唱や歌に合わせた踊り、障害者団体等の活動パネル展示や絵画などの力作が並び、訪れた方は足をとめ、作品に見入っていた。また、2020東京パラリンピックでの掲示を目指した「ハンドスタンプアートプロジェクト」にも多くの方の参加があった。その他、福祉施設で作成した小物や菓子等の自主製作販売を行い、例年以上に盛大な賑わいを見せた。</p>	

【第42回障害者福祉大会】

障害者福祉大会は障害者週間に毎年開催されている。練馬区在住在勤で地域において活躍している障害のある方や、障害者福祉の向上に寄与した方を表彰するのが目的。区や区議会、各障害福祉団体の代表者ら約150名の出席者が祝福した。



▲障害者福祉大会の様子

【2018 障害者フェスティバル】

障害のある方に対する理解や認識を深めることを目的に、1982年（昭和57年）から毎年障害者週間に合わせて開催され、今年で37回目。今年のテーマは、『広がる・つながる・みんなの心』。障害者団体や事業所の計43団体が参加した。



▲障害者フェスティバルの様子

【ユニバーサルフェスティバル】

障害のある方や高齢者、子ども、外国人など、様々な人が共に暮らせる地域社会を実現するために、スポーツや音楽、アートを楽しみながら、お互いの理解を深めることができるよう、工夫を凝らして実施するイベント。



▲ねりまユニバーサルフェス
 ロゴ